

# PMB・HTIにおける地下階環境調査の実施について

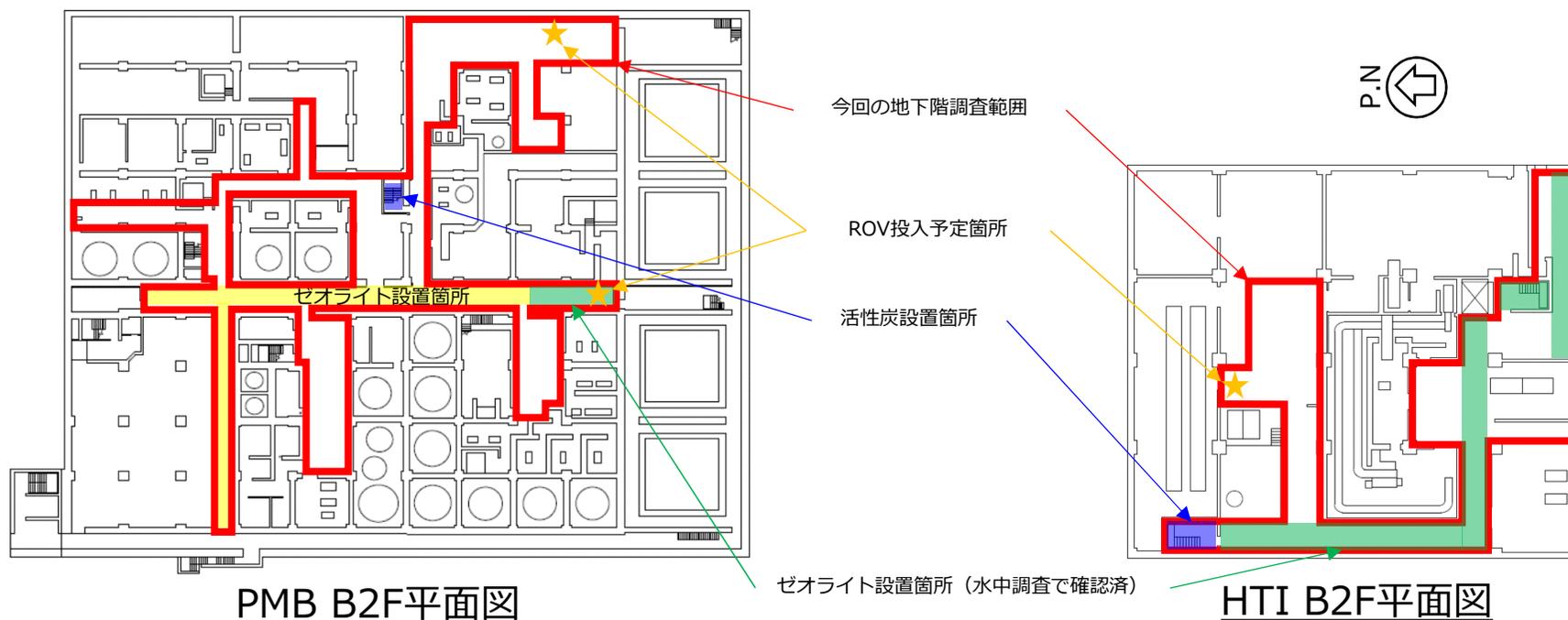


---

2021/04/27

東京電力ホールディングス株式会社

- ゼオライト土嚢処理に向け、作業に使用すると想定されるエリアの調査を実施する計画
    - 以前実施した水中ROV調査は土嚢の敷設範囲の確認、土嚢の表面線量の確認、土嚢の劣化具合の確認が目的であったが、今回は処理作業をすることを想定した、エリアの調査と土嚢の位置の詳細な特定を目的として、水中ROVを改造した、ボート型ROVで直営にて実施する。
    - 今回の調査での確認項目
      - ✓ ゼオライト周辺エリアの状況の目視確認
      - ✓ エリアの線量測定
      - ✓ ゼオライト・活性炭土嚢詳細な位置の特定
- ※干渉物の状況や、滞留水の濁りによっては、ROVの行動範囲や、水中の視界が限定的になるが、可能な範囲で調査を実施する

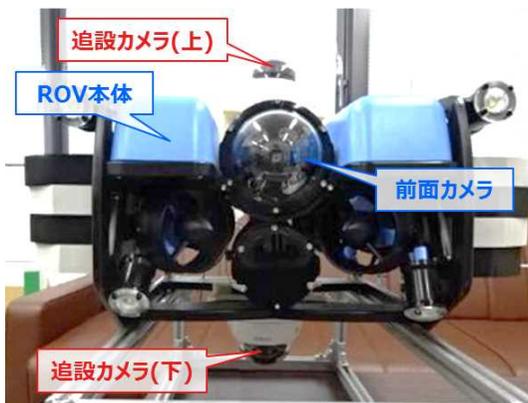


# ボート型ROVと調査の実施時期

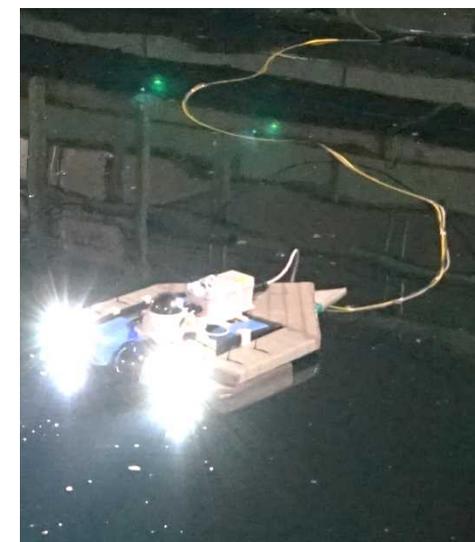
- 調査は市販の水中ROVを改造した、弊社経営戦略技術研究所と協働製作したROVを使用
  - ✓ 沈殿物の舞い上がりによる水のにごり防止のため、ボート型ROVを使用
  - ✓ サイズ：80cm x 54cm x 41cm 約11kg
  - ✓ ベースのROVのカメラの他に、上下にIPカメラを追設
  - ✓ 線量計を追設し環境線量を計測可能
- ボート型ROVの制作後、2020年12月に福島ロボットテストフィールドにてモックアップ試験を実施。最終的な改良を実施し、2021年5月下旬からHTIより調査を開始予定。  
※HTIが調査可能水位（水深1.5m程度）で維持できない場合や、Covid-19の蔓延状況によっては時期変更を実施する可能性がある



ベースの市販水中ROV



調査に使用するボート型ROV



ROVのモックアップテスト

## 【参考】モックアップ試験

### ■ 2020年12月に福島ロボットテストフィールドにてモックアップ試験を実施

- ✓ 手順の確認や改良すべき点の洗い出し
- ✓ ROV自体の使い勝手の確認と、改良すべき点の洗い出し
- ✓ 操縦訓練と習熟

⇒これらを踏まえて、さらなる手順の改良やROVの改良を実施



モックアップ試験の概要